

報告課題 地理探究 第1部 現代世界の系統地理的考察 第3章1節～第4章3節 第5回

◎教科書『新詳地理探究』P.146～183を読んで、次の問題に取り組みましょう。

1. 「交通・通信」についての問題です。

問1 交通について、次の各問に答えなさい。

〔1〕～〔4〕は空欄に入る適語を語群から選び、記号で答えなさい。

解答番号 〔1〕～〔4〕

知識・技能

解答番号 〔5〕～〔6〕

思考・判断・表現

〔1〕 (〔1〕) とは、2地点間の距離を、絶対距離ではなく、移動にかかる時間で表した距離のこと。交通機関の発達により 〔1〕 は短縮される。 P.146

〔2〕 (〔2〕) とは、地域内の航空交通の拠点となる空港のこと。自転車の車輪の主軸にたとえて、このようによばれる。利用者数が多いアジアの 〔2〕 としては北京首都国際空港、羽田空港、香港国際空港などが代表的である。

〔3〕 先進国の多くでは、20世紀半ばごろから (〔3〕) に P.147 よって、陸上交通で最も重要な輸送機関は自動車とされたが、近年では、環境への影響を小さくするために、鉄道や船舶に輸送手段を転換する (〔4〕 P.147) が求められている。

〔4〕 世界の交通について説明した文として適当でないものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えなさい。

解答番号〔5〕

ア. 旅客だけでなく、半導体などの電子部品や精密機械、まぐろなどの生鮮食料品、花卉、貴金属など、軽量で単価が高い物品は、航空機で輸送されることが多い。

イ. 船舶は、速度の点ではほかの交通機関に劣るものの、鉱産資源や機械類など、重い貨物や容積の大きい貨物を運べる長所があるが、ほかの輸送手段と比較して運送料は割高である。 (?)

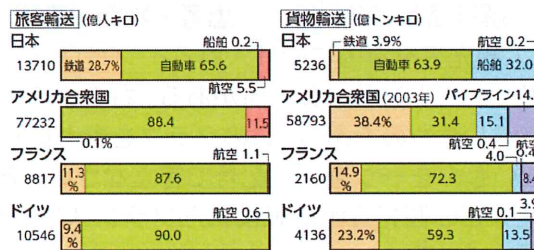
ウ. 鉄道は、旅客や貨物を大量に運ぶのに適しており、旅客輸送については、渋滞がなく、ほぼ時間通りに運行できることから、大都市圏の通勤や通学で使われることが多い。

エ. 自動車は、一度に輸送できる量は限られているが、ドアからドアまで乗り換えや積み替えなしに移動できる点で優れている。

〔5〕 日本交通についての問題です。下の資料は、主な国の国内輸送の内訳のグラフと、新幹線と主な航空路を示した地図である。これらの資料から読み取れることについて述べた文として適当でないものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えなさい。

解答番号〔6〕

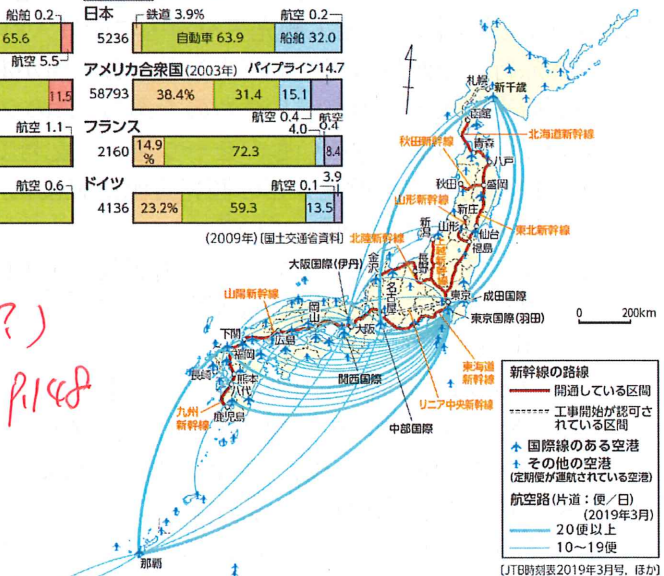
ア. 4か国の国内輸送の割合を比較した場合、鉄道を利用した旅客輸送の割合が最も高いのは日本である。



イ. 4か国の国内輸送の割合を比較した場合、船舶を利用した貨物輸送の割合が最も高いのは日本である。

ウ. すべての都道府県には、定期便が運行できる空港が配置されているが、東京を中心に九州や北海道などの各地域を結ぶ路線が主体となっている。 (?) P.148

エ. 新幹線は、四国以外の北海道、本州、九州を結んでいるが、すべての都道府県を通過しているわけではない。



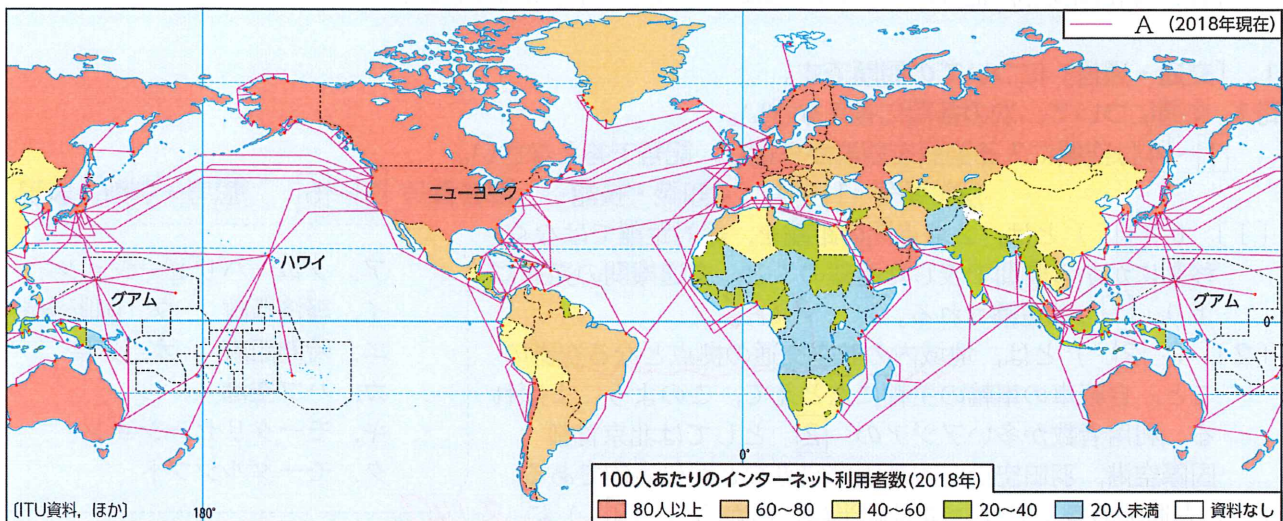
問2「情報通信の発達」についての問題です。下の地図は、各国・地域のインターネット普及率などを示したものである。次の各問に答えなさい。

解答番号 7~8

思考・判断・表現

解答番号9

知識・技能



〔1〕上の地図の凡例Aは、インターネットの国際通信の約99%を担う「大動脈」ともいわれる伝送路を示している。一般に、何というか答えなさい。 P150 解答番号7

〔2〕上の地図から読み取れることについて述べた文として適当でないものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えなさい。 解答番号8

ア. 人口100人あたりのインターネット利用者数が80人以上の国は、全大陸にある。

イ. ブラジルよりもカナダのほうが、インターネット利用率は高い。 (1)

ウ. インドは中国よりも、インターネット利用率が低い。

エ. 西ヨーロッパ諸国には、利用率80%以上の国が多い。

〔3〕上の地図から、インターネットの利用率が国家あるいは地域により差があることがわかる。国家間や地域間、また年齢や学歴、収入などの違いによって個人間にも生じる情報格差を一般に何とよぶか、カタカナで答えなさい。 P151 解答番号9

2.「観光」についての問題です。

問1 交通と通信の発達などをきっかけとして、近年、海外への観光客が増加しただけでなく、観光の目的も多様化している。「余暇の拡大と観光産業」について、次の各問に答えなさい。

解答番号 10~12

思考・判断・表現

解答番号 13

知識・技能

〔1〕国際観光には、外国人観光客を自国に受け入れるインバウンドと自国民が国外旅行に出かけるアウトバウンドの2方向がある。右のグラフは、主な国の国際観光収入と支出を示したものである。このグラフを参考にして、次のア～エのうちから適当でないものの一つを選び、記号で答えなさい。 解答番号10

ア. 歴史的な文化遺産などの観光資源に恵まれたフランスやスペインは、収入が支出を上回っている。

イ. イギリスやイタリアでは、支出が収入を上回っている。 (?)

ウ. グラフに示された国のなかでは、アメリカ合衆国が最も国際観光収入が多い。

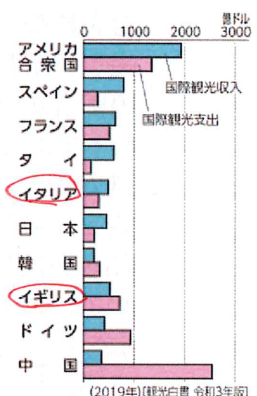
エ. グラフに示された国のなかでは、中国が最も国際観光支出が多い。

〔2〕次のA, Bの文について正しいか、誤っているか、記号で答えなさい。

A: 観光客の増加の一因ともなる世界遺産は、文化遺産、自然遺産の2種類に分類される。 P155 解答番号11

B: グリーンツーリズムとは、都市住民が、農村や山村で豊かな自然に親しむことを目的とした観光の形態のことである。 解答番号12

〔3〕持続可能な環境保全への理解を深めるために、自然環境や歴史、文化を体験しながら学ぶ観光の形態は、一般に何とよばれるか、カタカナで答えなさい。 P155 解答番号13



ア. 正しい
イ. 誤っている

問2「日本の観光とその変化」についての問題です。近年、日本を訪れる外国人観光客は増加している。外国人観光客をさらに誘致するための工夫や、問題点について説明した文として適当でないものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えなさい。

解答番号 14

思考・判断・表現

- ア. 政府はビザ発給の規制を緩和し、観光情報の提供と宣伝活動を強化している。
 イ. 観光地では外国語による案内やパンフレットを増やし、外国人に対応している。
 ウ. 観光地では外国人の信仰する宗教や文化に配慮した受け入れ体制の整備が急がれている。
 エ. 将来、外国人観光客が減少しても、経済的に困窮しない店舗づくりが万全である。

P.157

3.「貿易と経済圏」についての問題です。

問1「世界の貿易と地域間格差」について、次の各問に答えなさい。15～19は空欄に入る適語を語群から選び、記号で答えなさい。

解答番号 15～19

知識・技能

解答番号 20

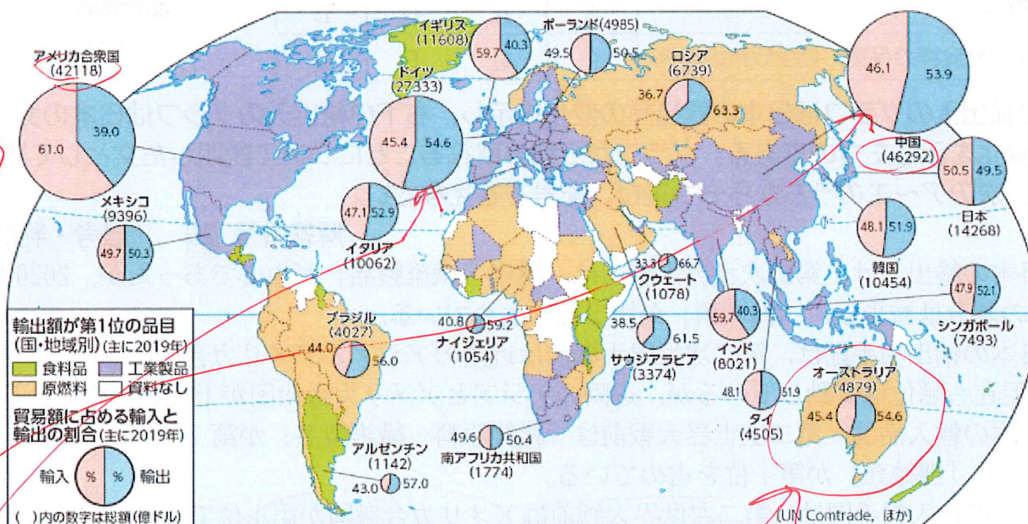
思考・判断・表現

- 〔1〕貿易を通じて、各国が生産を得意とする商品を輸出し合うことを（15）という。
 〔2〕一般に、貿易額はその国の経済規模に応じて増大する傾向がある。また、人口が比較的（16）工業国は、1人あたりの貿易額が大きい。
 〔3〕GDPに対する貿易額の比率を示す（17）は、
 域内貿易が盛んなヨーロッパの国々のほか、資源産出国や新興工業国で（18）。

- ア. 自給率 イ. 貿易依存度
 ウ. 国際分業 エ. 水平分業
 オ. 多い カ. 少ない
 キ. 高くなる ク. 低くなる
 ケ. ODA コ. 一次産品

- 〔4〕モノカルチャー経済とは、限られた種類の（19）の生産と輸出に依存する経済構造のことである。
 〔5〕以下の地図は、世界の主な国の貿易と輸出品を示したものである。この地図から読み取れることについて述べた文として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えなさい。

解答番号 20



- ア. 世界最大の貿易額を示す中国は、輸出額の第1位が工業製品であるが、輸入額が輸出額を上回っている。
 イ. 世界第2位の貿易額を示すアメリカ合衆国は、輸出額の第1位が工業製品であるが、輸入額が輸出額を上回っている。
 ウ. ヨーロッパを代表する工業国であるドイツは、輸出額の第1位が工業製品であるが、輸入額が輸出額を上回っている。
 エ. 資源大国で知られるオーストラリアは、輸出品の第1位が原燃料であり、輸入額が輸出額を上回っている。

問2「貿易の自由化と経済連携」について、次の各問に答えなさい。

解答番号 21~24

知識・技能

解答番号 25

思考・判断・表現

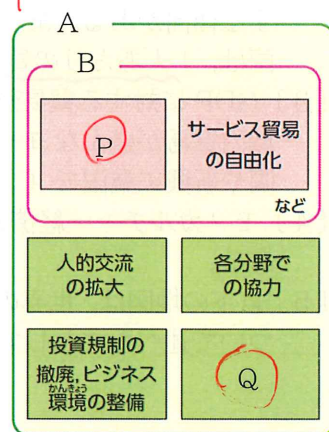
〔1〕次の文章は、外務省のホームページの資料から引用したものである。空欄に入る適語を語群から選び、記号で答えなさい。

【引用文】

1930年代の不況後、世界経済のブロック化が進み各国が（21）政策を設けたことが、第二次世界大戦の一因となったという反省から、1947年に（22）が作成され、（22）体制が1948年に発足しました（日本は1955年に加入）。貿易における無差別原則（最恵国待遇、内国民待遇）等の基本的ルールを規定した（22）は、多角的貿易体制の基礎を築き、貿易の（23）化の促進を通じて日本経済を含む世界経済の成長に貢献してきました。（22）は国際機関ではなく、暫定的な組織として運営されてきました。しかし、1986年に開始されたウルグアイ・ラウンド交渉において、貿易ルールの大幅な拡充が行われるとともに、これらを運営するため、より強固な基盤をもつ国際機関を設立する必要性が強く認識されるようになり1994年のウルグアイ・ラウンド交渉の妥結の際に（24）の設立が合意されました。

ア. 関税 イ. 自由
ウ. 垂直的貿易
エ. 保護主義的貿易
オ. EPA カ. FTA
キ. GATT ク. WTO

〔2〕世界は自由貿易を理想としながらも各国どうしで協定を結び、地域的な連携を強める動きが活発になっている。右の図は、自由貿易協定（FTA）と経済連携協定（EPA）の概念を示したものである。図中の空欄A、Bには、FTAあるいはEPAが該当し、図中の空欄P、Qには、「関税の削減・撤廃」あるいは「知的財産権の保護、競争政策の連携」が該当する。FTAと「知的財産権の保護、競争政策の連携」の組み合わせとして正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えなさい。



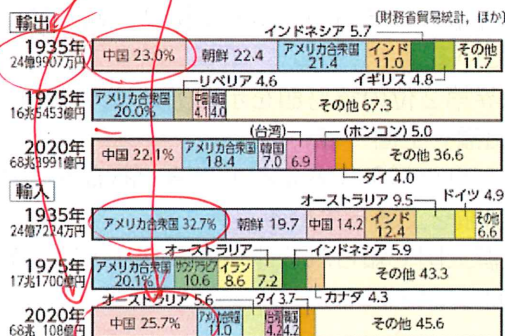
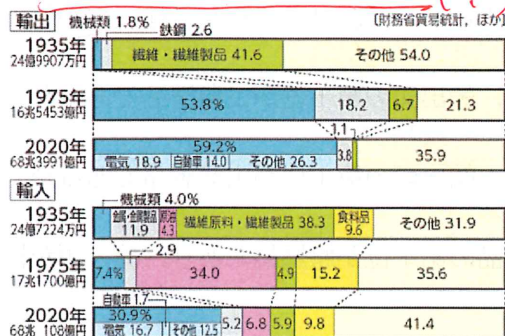
	ア	イ	ウ	エ
FTA	A	A	B	B
知的財産権の保護、競争政策の連携	P	Q	P	Q

問3 左下の輸出入のグラフは日本の貿易品の変化を示し、右下の輸出入のグラフは日本の貿易相手国・地域の変化を示したものである。グラフから読み取れることについて説明した文として適当でないものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えなさい。

解答番号 26

思考・判断・表現

- ア. 日本の輸出品は、第二次世界大戦前は「繊維・繊維製品」が中心であったが、2020年現在はその割合は減少し、「機械類」が第1位を占めている。
- イ. 日本の輸出相手国は、第二次世界大戦前は近隣のアジアとアメリカ合衆国が中心であり、2020年現在も順位は変動しているが、近隣のアジアとアメリカ合衆国が上位を占めている。
- ウ. 日本の輸入品は、第二次世界大戦前は「繊維原料・繊維製品」が第1位であったが、2020年現在は「機械類」が第1位を占めている。
- エ. 日本の輸入相手国は、第二次世界大戦前はアメリカ合衆国が第1位であり、2020年現在もアメリカ合衆国が第1位を占めている。



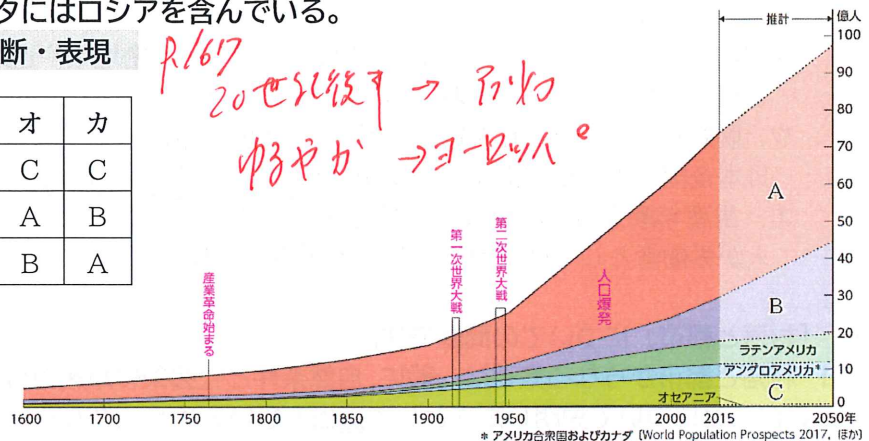
4. 「人口」についての問題です。

問1 21世紀に入り、世界の人口は100億に近づきつつある。下のグラフは、州・大陸別の人口の推移を示したものである。グラフ中のA～Cは、アジア、アフリカ、ヨーロッパのいずれかである。州・大陸名と記号の正しい組み合わせを、次のア～カのうちから一つ選び、記号で答えなさい。

なお、ヨーロッパの人口データにはロシアを含んでいる。

解答番号 27 思考・判断・表現

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
アジア	A	A	B	B	C	C
アフリカ	B	C	A	C	A	B
ヨーロッパ	C	B	C	A	B	A



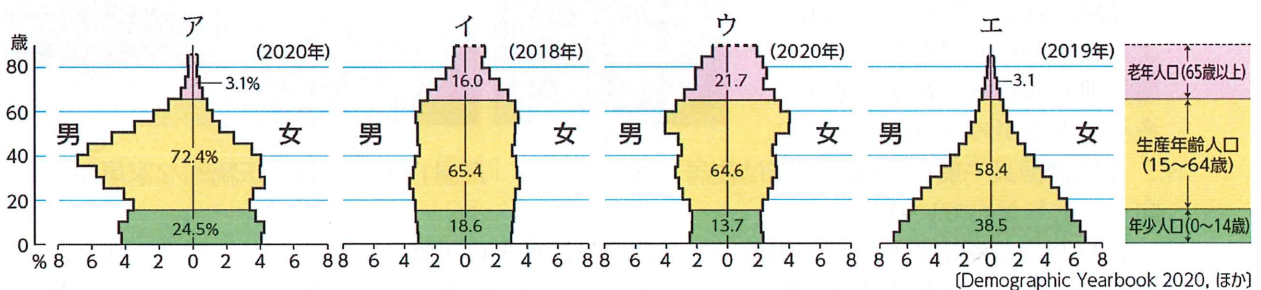
問2 次の文中の空欄に入る適語を答えなさい。

解答番号 28～32 知識・技能

- [1] 人間が居住する地域である (28) は世界各地に広がっており、70億を超える人々が生活している。
- [2] 人口増加には、出生数と死亡数の差によって生じる (29) と、人口移動によって生じる (30) がある。
- [3] (31) とは、国や地域別の性別・年齢別人口構成を表すグラフである。現在から将来にかけての人口に関わる問題を推測することができる。
- [4] 政治・宗教の自由や生活の改善、就業の機会を求めて、海外へ移住した人々は、一般に (32) とよばれる。

問3 次の図中のア～エは、アメリカ合衆国、エチオピア、サウジアラビア、ドイツのいずれかの国の性別・年齢別人口構成をグラフで表現したものである。このうち、ドイツに該当するグラフを一つ選び、記号で答えなさい。

解答番号 33 思考・判断・表現



5. 「人口問題」についての問題です。

問1 「世界の人口問題」についての問題です。人口問題は、国や地域により質的な違いがある。以下の文ア～エは、アメリカ合衆国、インド、シンガポール、中国のいずれかの国の人口問題について説明したものである。このうち、インドの人口問題について説明したものを一つ選び、記号で答えなさい。

解答番号 34 思考・判断・表現

- ア. 一人っ子政策で出生率と人口増加率は下がった。今後は急激な高齢化が予想される。
- イ. 家族計画を推進したが、出生率の低下は緩やかで、人口増加率はやや高い。
- ウ. 多くの移民を受け入れてきた。多様な人々との共存や共生が課題である。
- エ. 家族計画の成功で出生率は下がった。近年は下がり過ぎた出生率を上昇させる政策に転じた。

問2「日本の人口問題」について述べた文として適当でないものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えなさい。 p.174

解答番号 35

思考・判断・表現

- ア. 日本は、世界の国々の中で最も短い期間に高齢化が進んだ国であり、現在、世界で最も高齢化した国となっている。
- イ. 国内の人口分布や増減状況には地域差があり、過密地域や過疎地域、さらには老年人口率が50%を超えた限界集落とよばれる地域も出現している。
- ウ. 晩婚化や非婚化、養育費の上昇、価値観の変化などを背景に、合計特殊出生率は2.1を下回り、日本全国で少子化が進んでいるが、都市部と農村部の地域差はみられない。
- エ. 生産年齢人口が減少し、労働力不足が起こっており、さまざまな条件は存在するものの、外国人が労働者として就業できるしくみが整備されている。

(?) p.174

6.「村落と都市」についての問題です。

問1 村落と都市からなる集落は一般に、自然条件と社会条件が組み合わさって立地していることが多い。このことについて説明した文として適当でないものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えなさい。 p.178

解答番号 36

思考・判断・表現

- ア. 古い時代に成立した集落の立地は、周辺の地形や水の得やすさ、日当たりなどと深い関わりがあった。
- イ. 日本の河川の下流部では、地震による被害を避けるため、自然堤防などの微高地に集落が立地している地域がみられる。
- ウ. 砂漠やその周辺部の乾燥地域では、外来河川沿いや地下水が豊富に得られるオアシスなどに早くから集落が発達した。
- エ. 主要な交通路上や河川の合流部、港に適した臨海部といった水陸の交通の要所に集落が立地している例もみられる。

問2「村落の形態と機能」についての問題です。次の写真A～Cは、日本の村落を撮影したものである。各写真に該当する説明文を、次のア～ウのうちからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

解答番号 37～39

思考・判断・表現

A (37) B (38) C (39)

- ア. 散村がみられる。家の周りには屋敷林が植えられ、冬の積雪や季節風、春先のフェーン現象による強風から家屋を守っている。扇状地であるため水が得やすく、多くの水田がみられる。

(撮影:近代航空)



A



B



C

- イ. 1階は漁具や船の倉庫、2階は住居になっている「舟屋」とよばれる伝統的な家屋が、海に向って立ち並んでいる。
- ウ. 江戸時代に開拓された新田集落で、各農家は短冊形の土地を、道路側から宅地、耕地、薪や肥料用の落ち葉をとる林地の順に配して利用したが、現在、林地の多くは宅地などに転用されている。

問3 次の文が説明する村落名を、漢字で答えなさい。

解答番号 40～42

知識・技能

- [1] 中世以降、有力な寺院・神社の周辺に形成された町で、社寺関係者や多くの参拝者を相手にする商工業者が集まることによって形成された。 p.181
- [2] 江戸時代に、五街道に沿って発達した村落で、街村の形態をとっている。当時は、宿泊・休憩のため問屋場、本陣、脇本陣などが置かれた。 p.181
- [3] 明治時代に北海道の警備と開拓を目的として設置され、かつては路村の形態が顕著だった。 p.181

解答番号 40

解答番号 41

解答番号 42